

POM1の再調整

2016年10月19日

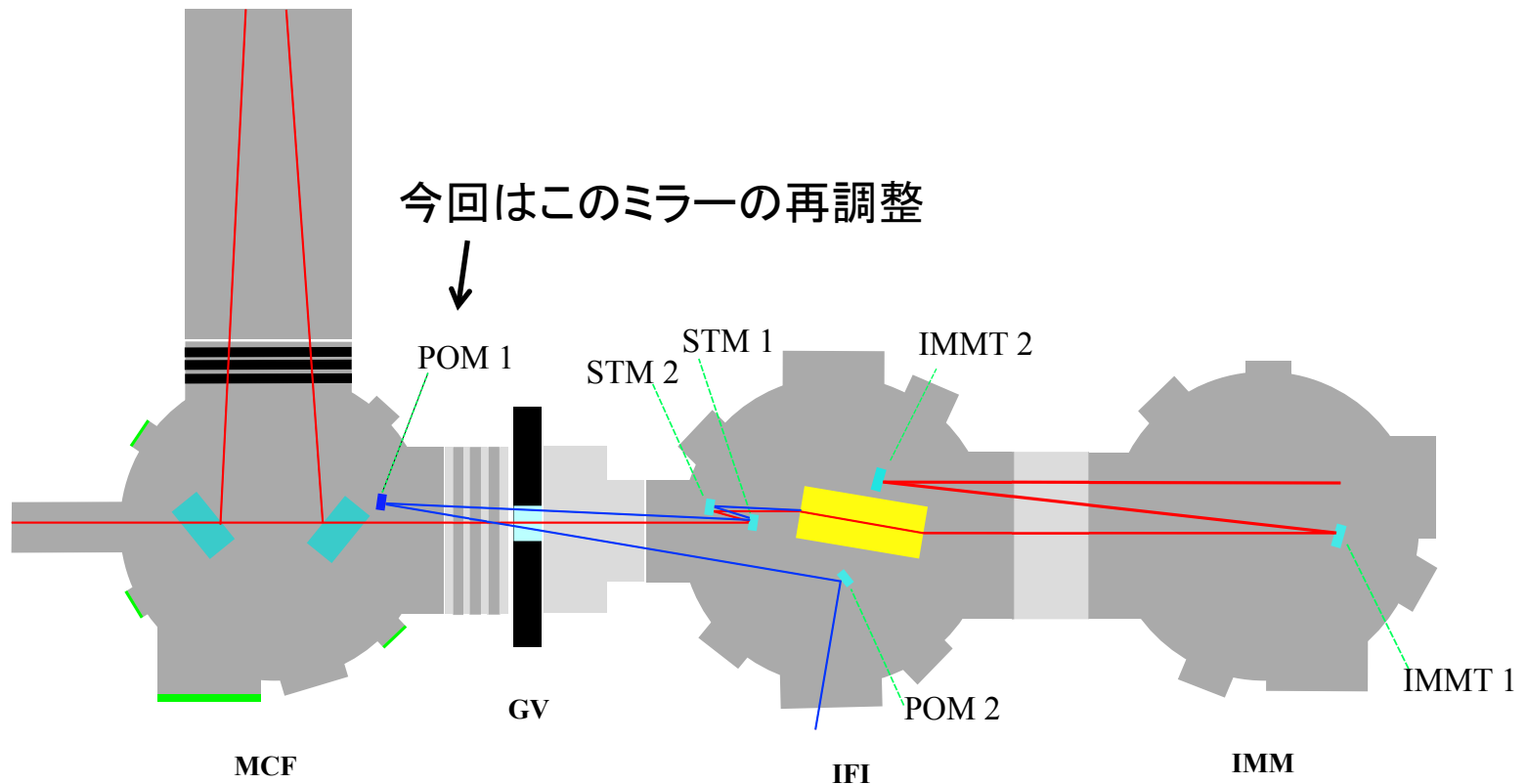
作業者

宗宮、川村、苔山、片岡

動機

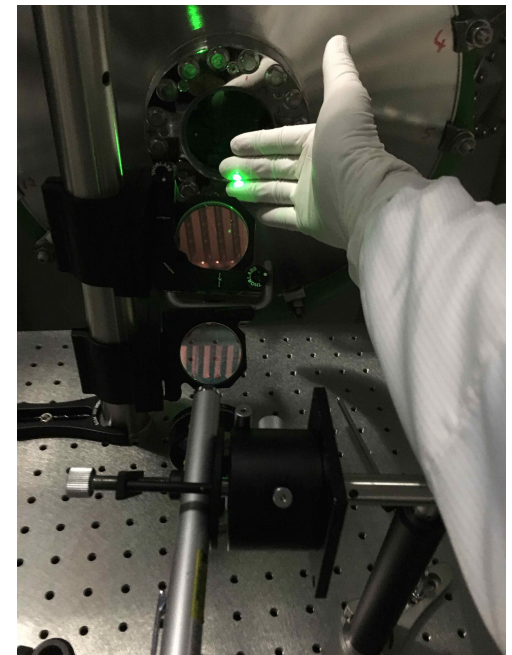
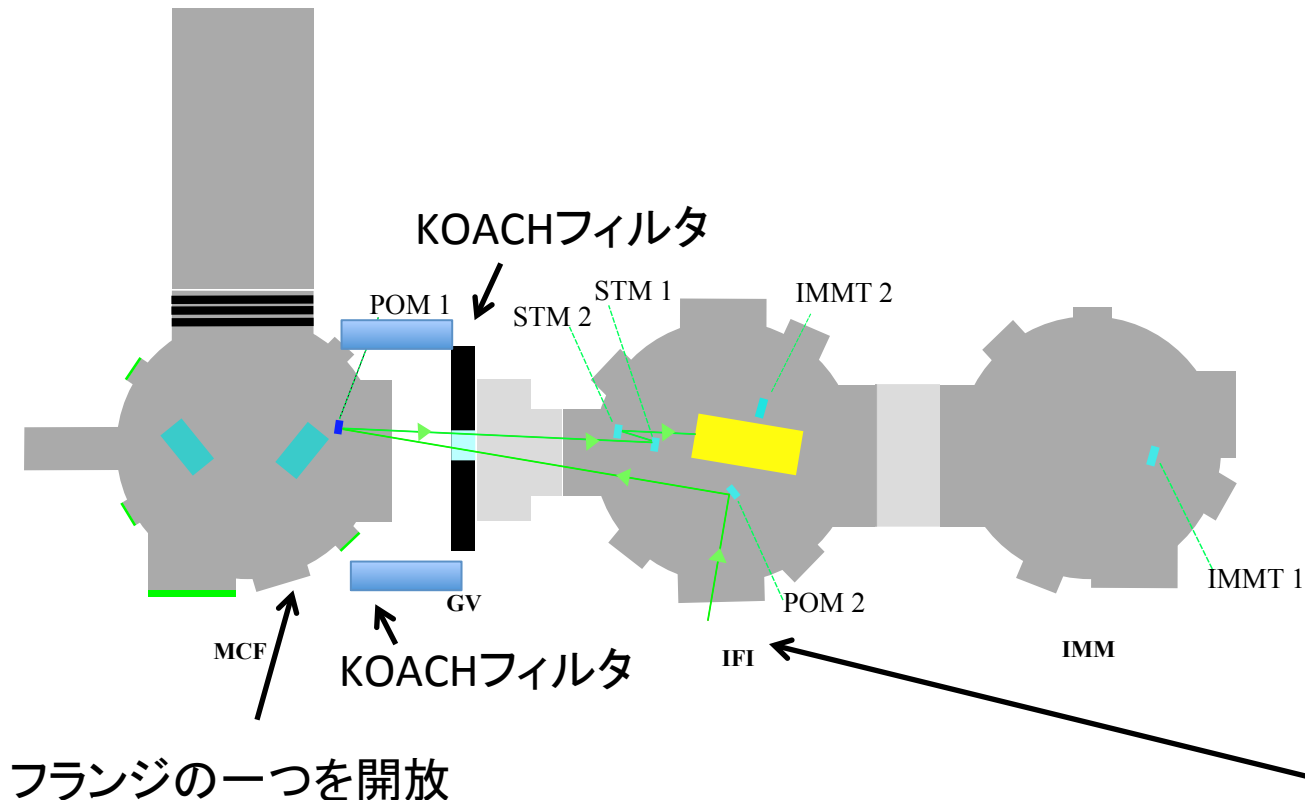
- POM1のピコモータがレンジぎりぎりになっていた
(10月13日の大石さんの記事参照

<http://klog.icrr.u-tokyo.ac.jp/osl/?r=2059>)



作業セットアップ

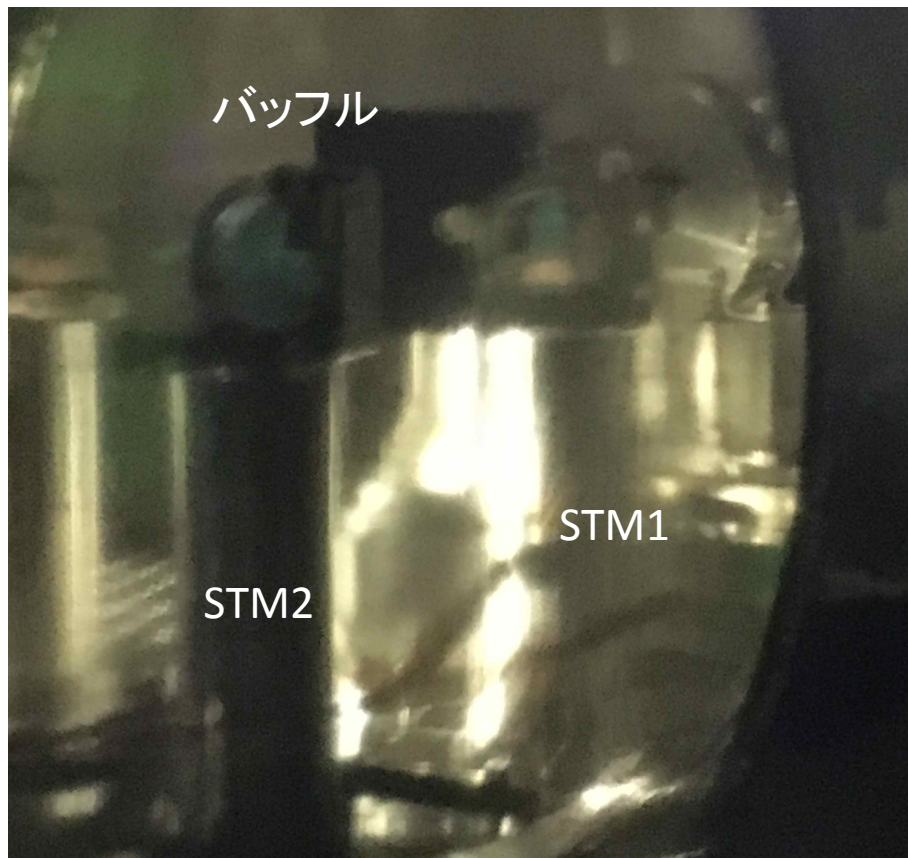
- KOACHフィルタを用いた
- 緑色のレーザーポインタをレフルに設置
- レーザーポインタの入射角を調整しPOM2にあてた
- さらにレーザーポインタの入射角を調整しPOM2からの反射光をPOM1に当てた



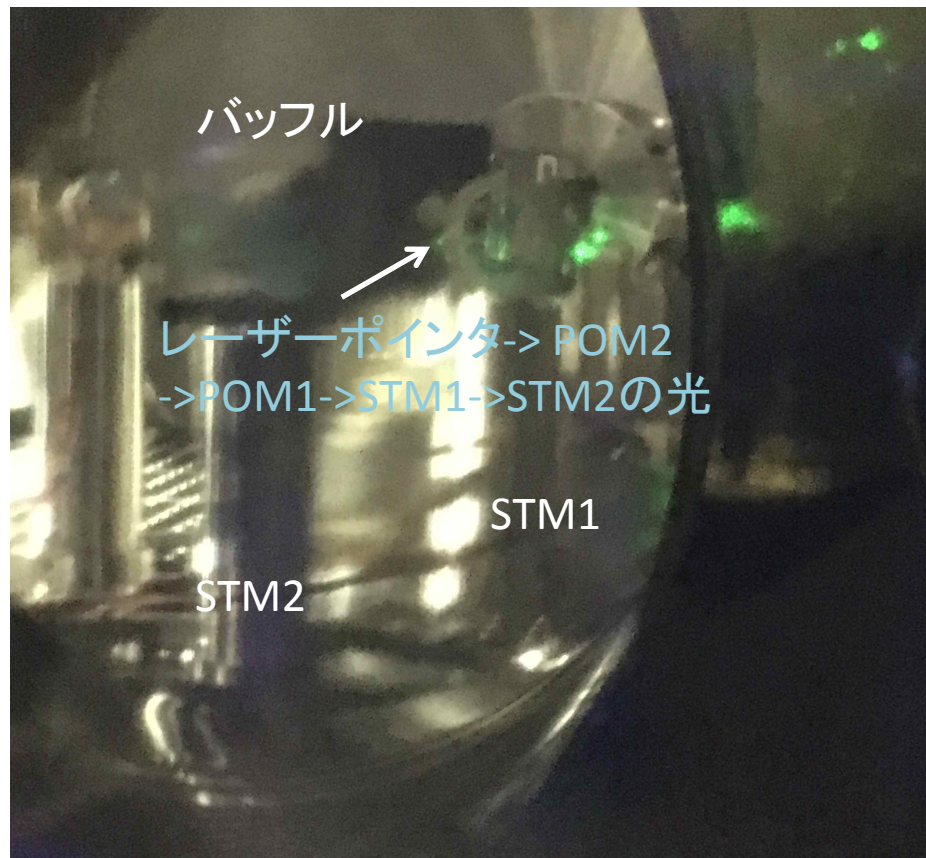
レフルから入射させた
レーザーの様子

POM2の角度の確認

- レーザーポインタからの光がIFIのバッフルに当たっていることを確認した
⇒ POM1(とPOM2)の角度が変わっていないことが確認できた



POM1の反射光をブロックした場合

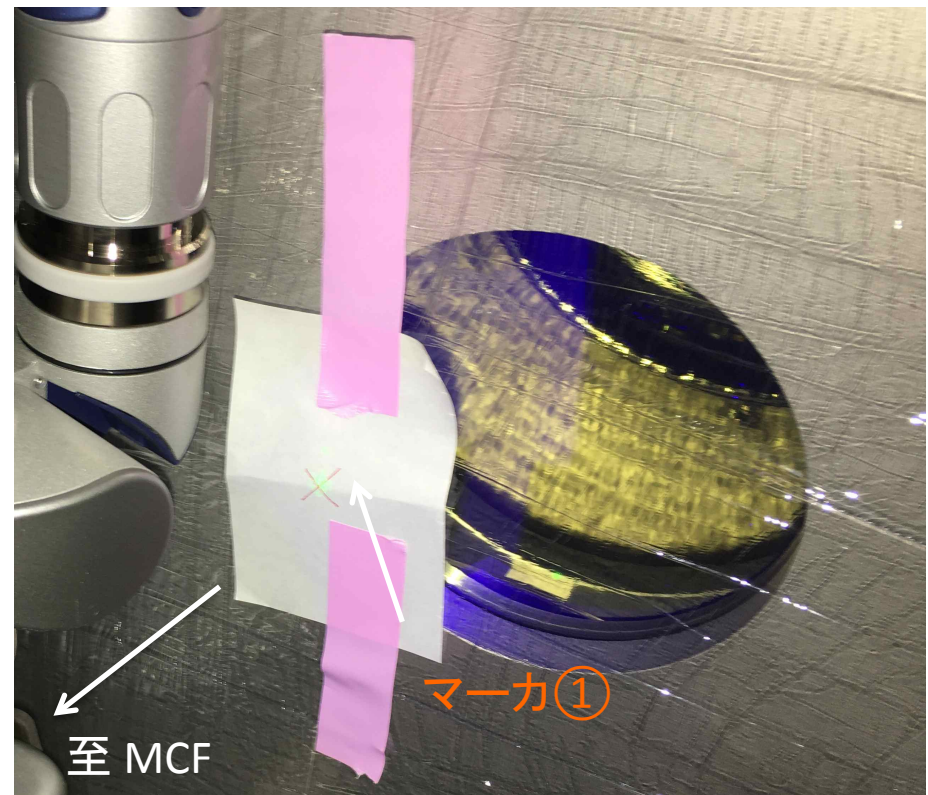
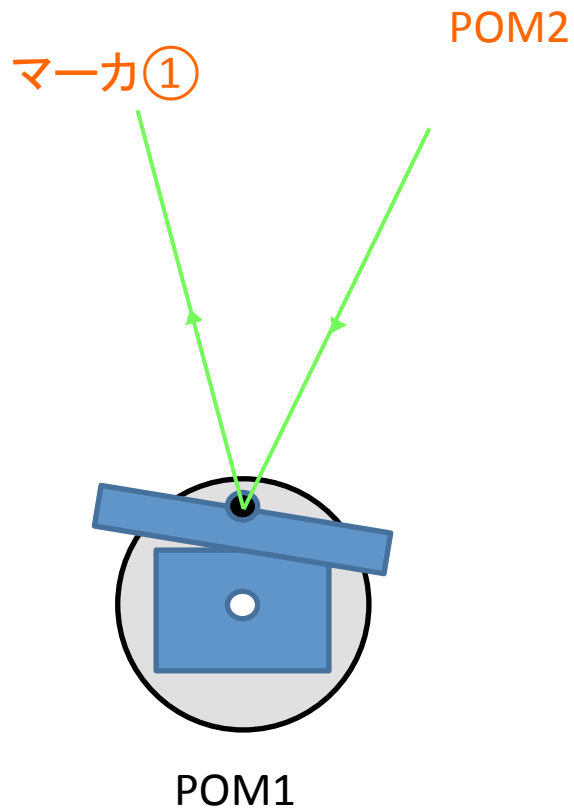


POM1の反射光をブロックしなかった場合

POM1の再調整

手順①

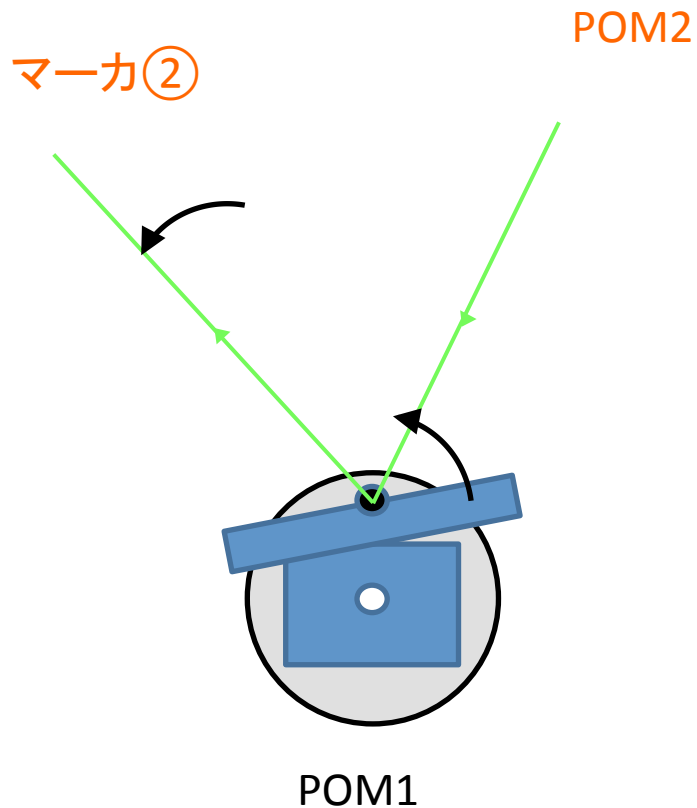
- ・ レーザーポインタからの光を参照光とした
- ・ ゲートバルブ上にマーカー①を置いた



POM1の再調整

手順②

- ミラーマウントを手動(ピコモータ使わず)でレンジ一杯まで回転させた

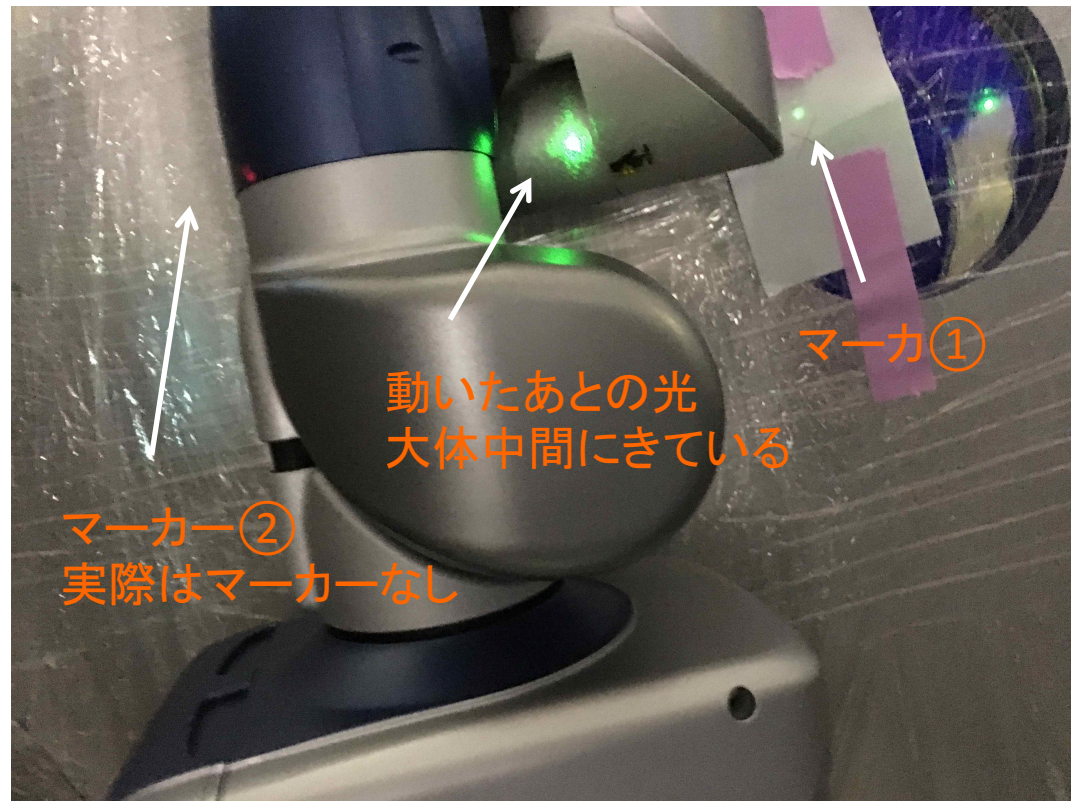
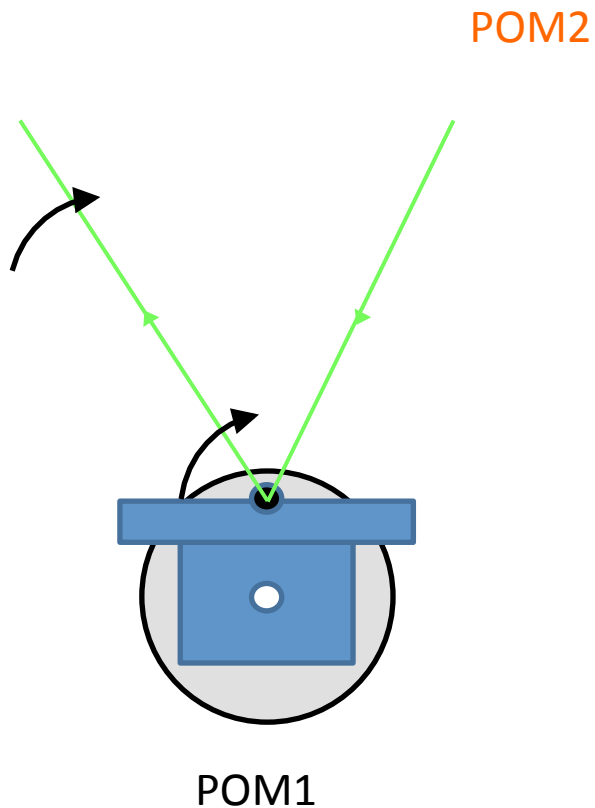


マーカ①が緑に光っているのは重要でない

POM1の再調整

手順③

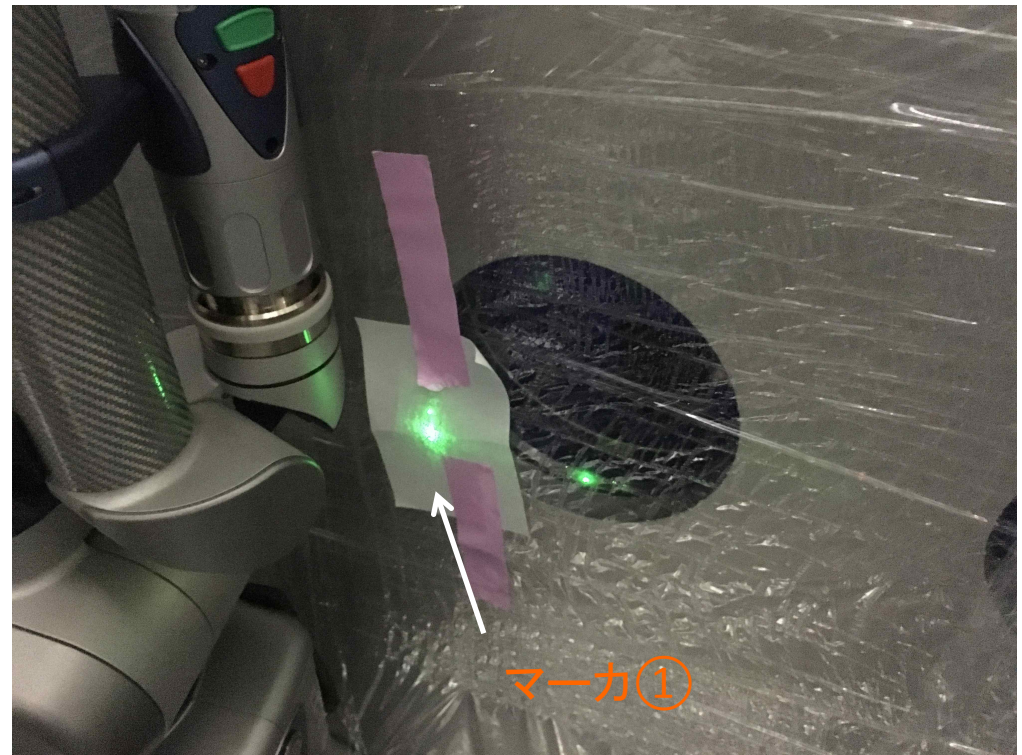
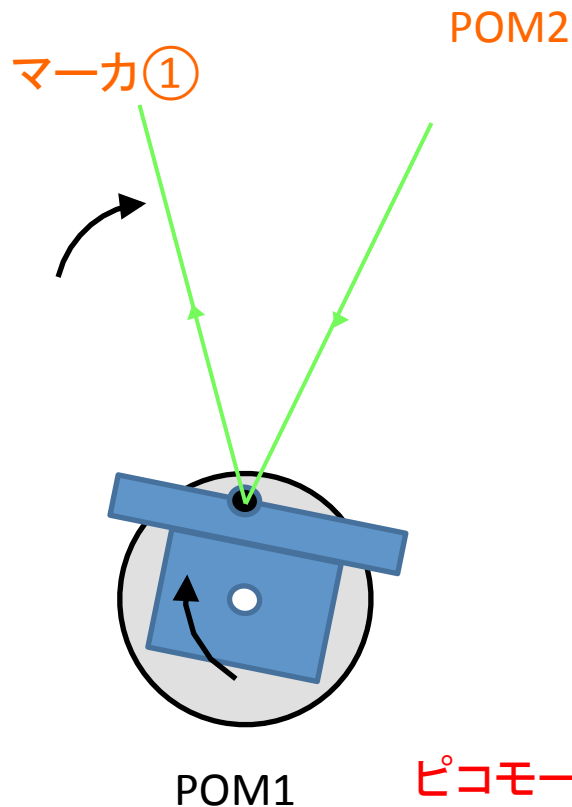
- マーカー①とマーカー②の間に光がくるようにミラーマウントの角度を戻した



POM1の再調整

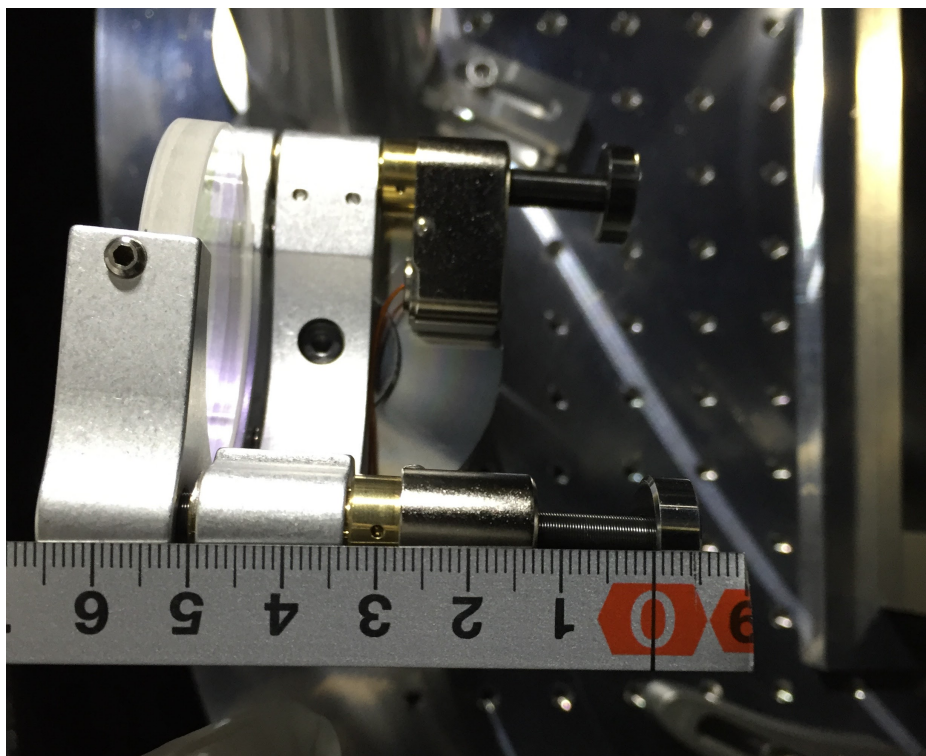
手順④

- この状態でミラーを台座ごと回転させ、マーカー①の位置に参照光がくるようにした

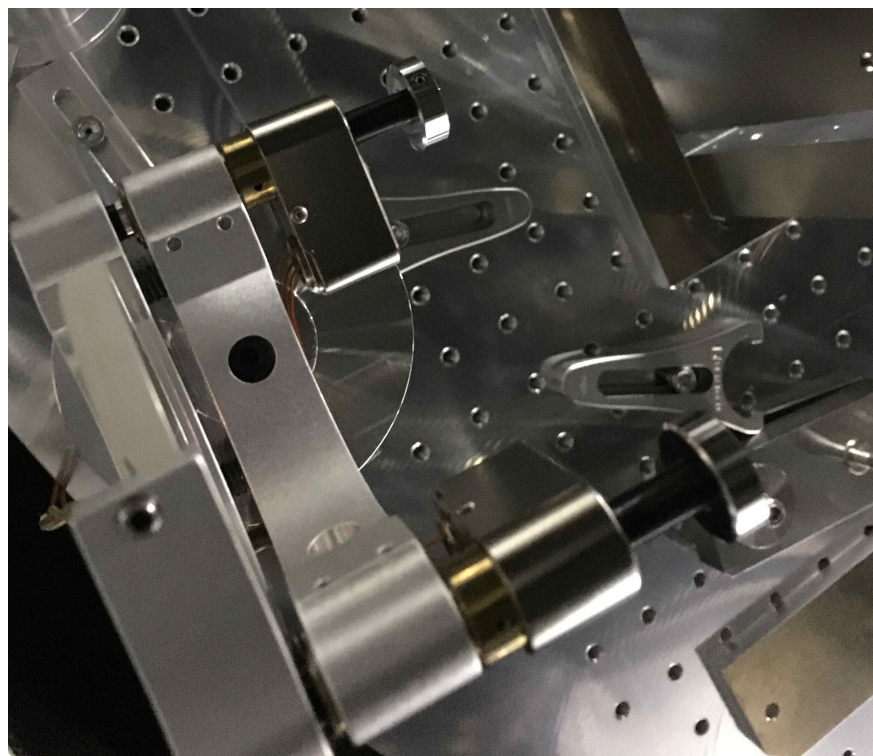


ピコモータドライバ紛失のため、ピコモータの動作確認はできず

POM1の写真



POM1調整前の写真 2016.10.13撮影



POM1調整後の写真 2016.10.19撮影